

稲城野草散策の会

野草スケッチ ウメバチソウ（ユキノシタ科）



1996/11/07 町田市 絵と文 Ta

多摩ニュータウンの南端を走る道路がある。
尾根幹線道路が正式名称だが、通称は「オネカン」だ。
稲城市から多摩市、八王子市を経て町田市まで伸びている。
道路は文字通り尾根を通っていて、北側は多摩川、南側は鶴見川流域となる分水嶺である。

会報第24号 2006年12月17日発行 発行責任者 尼子 房夫

「ウメバチソウを見に行きませんか」
Nさんから誘いがあったのは、坂浜～南黒川での観察を終えて解散する直前だった。
Nさんは町田市在住で、町田市近辺のフィールドにはたいへん詳しい方である。
小田急多摩線の唐木田駅からそれほど遠くない谷戸に咲いているという。
時間はまだ3時前だ。何人が誘って、黒川駅から唐木田駅へ向かった。

多摩丘陵とは、相模川と多摩川との間に位置する丘陵一帯をいう。
唐木田駅周辺は、かつては何もない辺鄙な山村だったのだと思うが、いまや多摩ニュータウンの地理的中心地である。
唐木田へは初めて来た。
住宅、大学、オフィス、それに小田急の車両基地などがあって、静かなたたずまいではあるが、いかにも人工的な匂いのする街だ。
人が集まって町ができたのではない。町を作って人を集めたのだから当然ともいえる。

駅から南へ向かうとすぐにオネカンが通っている。
オネカンを渡って坂を下ったとたん、景色が一変した。
谷戸があり、雑木林があり、田んぼがあり、農家が散在している。
懐かしいような光景がそこに広がっていた。
オネカンは、作られた町並みと自然とを画している分水嶺でもあったのだ。

田んぼの先には雑木林がせり出している。
雑木林の向こうにまた谷戸があり、田んぼがある。
詳しい場所は書けないが、そのあたりの谷戸にウメバチソウが咲いていた。
信州・菅平高原以来の「ご対面」であった。
多摩丘陵では初めての出会いだ。

ウメバチソウは、山野の日当たりのよい湿地に生える、と図鑑には書かれている。
ヤマケイの「山に咲く花」に掲載されている写真も、「菅平」となっていた。
多摩丘陵にもあることは、以前に故曽根先生からお聞きしたことがあった。
それも、稲城にあったというのだ。ただし、先生も場所をご存じないという。
「他の人が見ているのに、君たちが知らないのは稲城野草散策の会の名折れだ。
探せ」とハッパを掛けられたことを思い出す。

スケッチは翌年だった。

通りかかった農家のおばあさんに、どこから来たのか、訊ねられた。

「稲城です」との答えに、「んまあ、そんな遠いところから・・・」といわれてしまった。

オネカンを通れば車で30分ほどなので、私は近いつもりでいたのだが。

そういえば、元小学校教諭のYさんから、「昔はこのあたりへ赴任すると、僻地手当てがついたものだ」と教えてもらったことがある。

かつては、多摩地区の「秘境」的存在だったらしい。

ニュータウンができ、オネカンが通り、車で簡単にどこへでも行ける。

便利にはなったが、失ったものも多いのではないだろうか。

「もっと貴重な植物がたくさんあったんですよ。次々に消えてしまい、私たちだけが取り残されました」

ウメバチソウから、そんなつぶやきが聞こえてきそうだった。

* * * * *

〔観察記録〕 11月19日 稲城ふれあいの森

天気予報で大雨だという報道が流れ、敬遠された方も多かったようです。28名の参加者がありました。

若葉台駅から西小田良谷戸に向かい、リンドウ、クルマアザミ、アイナエの小さな花一輪などを観察しました。生憎の曇り空で、リンドウはつぼみのままでした。残念！

この辺りから小雨が落ちてきました。稲城ふれあいの森に入り、管理小屋のところで昼食。午後は雨が強くなるということで、予定を変更して若葉台駅に戻ることにして、管理小屋の下のテントサイトの広場を経由、ケツすべり坂、南の泉の道を通って駅に戻りました。2時過ぎに解散。雨にもまけず参加された皆さん、お疲れ様でした。

次回は、12月17日、恒例の「焼き芋大会」です。またお逢いしましょう。(FAM)

◆観察記録（番号順）

- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| (01) オオブタクサ(実) | (02) ヤブマメ(実) | (03) ヤマグワ |
| (04) エゴノキタケ | (05) エゴノキ | (06) サワフタギ |
| (07) コナラ | (08) クヌギ | (09) クマノミズキ |
| (10) ウグイスカグラ | (11) サワフタギ | (12) タマノカンアオイ |
| (13) ヤマザクラ | (14) クマシデ | (15) ツリハナ |

- | | | |
|----------------|-----------------|------------------|
| (16) マユミ | (17) カジイチゴ | (18) シロヨメナ(花) |
| (19) ショカツサイ | (20) ムラサキシキブ(実) | (21) サラシナショウマ(花) |
| (22) ヨウシュヤマゴボウ | (23) ヒメコウソ | (24) オニノゲシ(花) |
| (25) ノハコグサ(花) | (26) ホオノキ | (27) ヤクシソウ(花) |
| (28) カキドオシ | (29) アオイスマシ | (30) イヌザクラ |
| (31) リンドウ(蕾) | (32) ハンショウツル | (33) ゲジゲジシダ |
| (34) ノハラアザミ(花) | (35) クルマアザミ(花) | (36) アキノタムラソウ(花) |
| (37) フユノハナワラビ | (38) リュウノウギク(花) | (39) マルバウツギ |
| (40) センニンソウ | (41) アイナエ(花) | (42) ヤマハッカ(花) |
| (43) リンドウ(蕾) | (44) ゼンマイ | (45) ミツバウツギ(実) |
| (46) ツリガネニンジン | (47) アブラスキ | (48) ノビル |
| (49) オオジシバリ(花) | (50) タンポポのロゼット | (51) コウゾリナのロゼット |
| (52) ノミノフスマ | (53) ナガバギシギシ | (54) キバナアキギリ |
| (55) アワブキ | (56) クリ | (57) ホラシノブ |

〔インドアオフ〕 11月18日 稲城市第2文化センター

稲城野草散策の会初めての試み「インドアオフ」を開催しました。場所は稲城市第二文化センターで、参加者は17名。田中肇さんも参加されて有意義なオフでした。

最初に広沢さんから「雪国の植物(新潟、白馬など)」、「西表島の植物アルバム」の紹介があり、次は sige さんから「観察会での記録写真」、斎藤さんの「写真集」、ついで、田中肇さんから「みなれた植物2題(コニシキソウ、ブタクサ)」、「ミズバショウ」についてパワーポイントの画像による説明がありました。平尾さんの「写真」に続いて、広沢さんの「冬芽」の説明で、今回のオフが終了しました。

ガガイモの花の写真が出て来たところで、田中肇さんから花の真ん中の白く突き出ているのは、柱頭ではなくて飾りだという説明がありました。これは最近発表された新説で、柱頭はもっと下に隠れているそうです。

「インドアオフ」は初めてですが、特定のテーマの発表のほかにも、皆さんが観察会で撮った写真をもう一度じっくりと見ることで、いろいろ新しい発見もあります。また機会を作ってこういったインドアオフを開催していきたいと思います。次回は、是非大勢の方のご参加をお待ちします。(FAM)

◆「樹皮ハンドブック」の斡旋

最近発売された「樹皮ハンドブック」の斡旋を行います。「お知らせ」に詳細を書いておりますが、定例行事やフォローアップの際に配布します。(広沢)

〔行事予定〕 2006/12/17 (日) 焼き芋大会

項目	説明
集合	午前10時、京王相模原線京王よみうりランド駅 ※会旗目標 京王よみうりランド駅の改札口は一個所だけです
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で3駅目 京王よみうりランド駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城市穴沢天神での恒例・焼き芋大会です。穴沢天神で解散。最寄 駅は京王よみうりランド駅です 焼き芋準備グループと観察グループの2班に分かれて行動する予定 です
見所・その他	たき火(^_^) 冬芽, 常緑シダなども観察します 当会の忘年会を兼ねます。芋, 酔い子の飲み物などは幹事が用意し ます。差し入れ大歓迎!!
コース	観察グループのコース: 駅前~よみうりランド遊歩道~小沢城址~穴沢天神 (焼き芋大会) (解散: 15時30頃)

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日500円

〔募集・2007年度観察会の推薦場所〕

2007年度の観察希望の場所を募集します。皆様からのご提案をお待ちします。

月例の場所としては、12月の焼き芋大会、1月の七草摘み、七草粥。稲城ふれ
あいの森、三沢川下りなど稲城での観察会を6回くらい、その他の場所8回。
バスハイク観察会1回を目安に考えています。

過去のバスハイク観察会は、下記。

000806 (日) 乙女峠

010729 (日) 三ツ峠

020627 (日) 三窪高原

030724 (木) 高峰高原

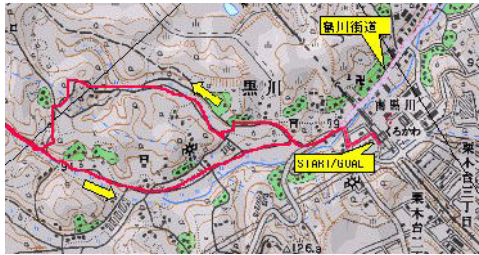
040722 (木) 入笠山

050714 (木) 高ボッチ

060427 (木) 函南原生林

(FAM)

〔行事予定〕 2007/1/20 (土) 黒川・七草摘み

項目	説明	地図
集合	am10時、小田急多摩線・黒川駅南口階段下 ※会旗目標	
交通	小田急線・新百合ヶ丘駅より唐木田行きに乗換えて3駅目 京王線利用者は京王相模原線・若葉台駅から徒歩(10分弱)が便利 または京王相模原線・永山駅で小田急多摩線に乗換え2駅目です	
行く先 (解散場所)	黒川の谷戸で七草摘みをします。黒川駅にてpm3時頃解散予定	
見所 その他	七草粥用のセリ、ナズナ、オギョウ(ハハコグサ)、ハコベラ(ハコベ)、ホトケノザ(コオニタビラコ)などを摘みます。摘んだ七草は翌日の七草粥用です。個人的に持ち帰ったりしないでください	〔コース〕 黒川駅→汁守神社→(黒川の谷戸で七草摘み&昼食)→汁守神社→黒川駅(解散・・・15時ころ) (上の地図を参照ください) コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円。

〔行事予定〕 2007/1/21 (日) 恒例・七草粥

項目	説明
集合	am10時、京王相模原線稲城駅 ※会旗目標
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で4駅目。 稲城駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城市城山文化センター(向陽台)での恒例・七草粥です。 現地で解散。最寄駅は稲城駅です
見所 その他	当会の新年会を兼ねて七草粥を作り、皆で頂きます 2007年度の「稲城野草散策の会」の行事予定を決めます つまみ、酔い子の飲み物などは幹事が用意します。差し入れ大歓迎!

※雨天決行 参加申込み不要、会費当日500円